

トウダイグサ科のユーフォルビア属で半耐寒性の常緑低木であり、朱紅赤色の花をつけます。花といわれている赤い部分は、実は花ではなくて、葉が変化した苞くほ



ポチンセチア  
*Euphorbia pulcherrima*

葉と呼ばれるものです。全草に有毒成分であるフォルボールが含まれています。この毒は、触っただけでは症状は出ないのですが、食べてしまうと嘔吐や下痢などを引き起こします。最悪の場合、死に至る場合もあります。

また、莖に含まれている毒は、切った時に出てくる白い樹液に含まれています。

この樹液に触れて、放置してしまうと、皮膚炎を引き起こします。

もし、手についてしまった場合は、すぐに洗ってください。



スターフルーツ  
*Averrhoa carambola*

スターフルーツの原産地は諸説ありますが、マレー半島やジャワ島、インドなどではないかといわれています。古くから熱帯アジア地域やインド地方などに分布していて、紀元前に書かれた中国の書物「神農本草経」にはスターフルーツとされる「羊桃」の記述があるとされています。果実を食用にし、生食やサラダ・ピクルス・砂糖漬けなどに用いる。味は薄く、酸味があり、水分が豊富な果物で、果肉は和ナシに似た食味です。食物繊維を多く含むのも特徴です。

# 薬草園だより

News from herb garden



181050 財津 実初 191121 伊藤 航  
193009 遠藤 温 193032 竹沢 陸来  
薬草園 設楽 満希 園長 榊原 巖

アカネ科のガンビルノキの葉や若枝を水で煮た液を濃縮乾燥したエキス。

東南アジア原産であり、それらの地域の諸民族の間で、石灰を混ぜて水で練り、檳榔(ピンロウ)の種子とともにキンマの葉で包みチューインガムのように噛む習慣があります。味は極めて渋く苦いです。アセンヤクが配合されているラツパのマーク 大幸薬品の「正露丸」は止瀉整腸の効き目がより確かなものとなっています。

漢方的には止瀉、止血、化痰の効能があり、種々の出血や下痢、口腔清涼剤などに用いられます。

カタバミ科ゴレンシ属の常緑の木本。  
和名は五款子(これんし)。



アンセンヤクキ  
*Uncaria gambir*